

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和7年3月25日

事業所名: スペシャル・ニーズ・サポートカレッジ単1

対象職員: 5名 回収数: 5名 回収率: 100%

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		1	活動ごとに必要とされるスペースや机の配置を工夫している	スペースは確保できているが、利用者が多いときには机の配置を考えるなど環境を整えるようにしています
	2	職員の配置数は適切である	1	3	1		スタッフの配置はできていますが、今後も安定した配置ができるようにしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2			現在は介助を必要とする利用者がいませんが、今後必要に応じてスタッフが対応していきます
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		子どもたちの様子をアプリを活用してリアルタイムで情報を共有している	毎日の打ち合わせでスタッフが個別の支援について意見交換を行い共通理解を図りながら支援しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				実施したアンケートを確認し、現状を把握した上で対応を行っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				ホームページにて公開をしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1			外部からの来訪者や関係機関よりご意見をいただいています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				年間の研修計画を立てて利用者様により良い支援を行うためにも、今後も職員の資質の向上を図ります
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			連絡帳の返信などによる保護者様の要望をお聞きし悩みなど相談に対応しています	お子様の様子や特性を理解し、5領域に沿ったアセスメントをとり支援計画を立てていきます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2			就労準備型として、利用者様の自立に向けた支援が行えるように適切なアセスメントを行っていきます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		1		担当からの提案を行いチームで話し合い修正し、共通理解を行いながら取り組んでいます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		主担当を輪番制にすることでマンネリ化することがないように工夫している	今後も自立に向けてSSTやレクリエーション、またPCを用いてモノづくり等、多様な活動を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1			今後も1日のタイムスケジュールを計画し個別の課題に沿った支援を行っていきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			集団活動と個別の活動を分けタイムスケジュールを組むように工夫している	集団活動によるSSTや個別のPCスキルの活動を取り入れながら行います
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5				ミーティングを毎日行いお子様の活動の様子や保護者様、学校からの情報を職員で共有し当日の支援についての確認を行っています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3			送迎の関係上、支援終了後に行うことが困難であるため翌日のミーティングにて行っていますが緊急を要する際には送迎後に行うようにしています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1			お子様の様子等、適切な記録作成の意識、実行の徹底を行っていきます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				6ヶ月以内に1度モニタリング面談を行うだけでなく、必要に応じて支援内容の見直しや検討をチームで行っていきます
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5				お子様の自立に向け、今後もSSTや集団活動、PCスキル活動を取り入れていきます	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2		管理者または児童発達管理責任者が関係機関と連携して参加し職員に情報を共有していきます	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			送迎時に学校での様子やその日の課題の確認などの情報の共有を行っています。また、必要な際にはケース会議にて情報共有を行い支援の方向性を確認しています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		現在、対象のお子様はおりませんが、必要時には対応を行います	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		現在対象のお子様はおりませんが、今後は必要であれば実施していきます	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3		障害福祉サービス事業所(就労)へ移行する時には事前に情報の提供を行うだけでなく、必要なスキルを身につける支援を行っています	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			今後も専門の方の助言を受けながらより支援のスキルの向上を図っていきます	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	3	現在、中高生の利用者が多いこともあり交流の機会がありませんが、機会があれば実施していきます	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	3	今後、研修の機会を設けて参加をしていくようにしていきます	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			連絡帳にて活動の様子をお知らせし、情報の共有を行っています	連絡帳以外でも、カレッジ通信にてお子様の活動の様子をお知らせしています。また、必要の際には保護者様に連絡し直接様子をお知らせしています
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	1		保護者会で職員との交流を行い保護者様の悩みや不安をお聞きする機会を設け、ご家庭の支援をさせていただいています	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			研修にて説明を行う機会を設けるだけでなく、活動室に掲示し確認できるようにしています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			保護者様の相談に対して助言が行えるように普段から職員の情報の共有を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			本年度は就労A型事業所「ハピラス」の管理者様に参加していただきました	本年度は17名の保護者様に参加していただき保護者様同士、保護者様と職員の交流を深めることができました
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2			受付担当及び責任者または第三者委員を設置しています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				ブログ・インスタ・通信などで発信をしています
	35	個人情報に十分注意している	5				個人情報に関する書類に関しては鍵付きの書庫で保管をし取り扱いにも十分注意していきます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				保護者様とご利用者様に合った配慮をしていきます
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	1		就労などの他事業所との連携を図り、就労体験を計画した運営を行っています
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				マニュアルを見直して整備し職員及び保護者様に周知していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1			今後も年2回の火災及び自然災害の避難訓練を実施していきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				年間を通して職員に研修を行っています。また虐待防止委員会の内容を職員に周知していきます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		安全面の配慮のための制止対応について説明を行い、保護者様に同意を頂いている	障がい特性に応じて検討を行い必要に応じて説明し事象があった場合は記載を行うようにしていきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2			保護者様に対応をお伺いするにしました「アレルギー研修会」にスタッフが参加しています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2			ヒヤリハットについて記録化を行いスタッフ内で周知し、今後の対策を話し合っていきます。